

STATEMENTS 219 2019



行動するシンクタンク
一般財団法人 下関21世紀協会
Shimonoseki 21st Century Association

思索の人として行動し、行動の人として思索せよ
アンリ・ベルクソン (Henri Bergson) [1859 ~ 1941] フランスの哲学者

維新・海峡ウォーク開始の経緯について

一般財団法人下関21世紀協会 理事 本藤 展康

維新・海峡ウォークは、高杉晋作の没後120回忌を記念し、昭和61年「1986」に始まり、今年で34回を数えました。このウォークを発案されたのは、東行庵第三世庵主・谷玉仙さん「平成元年1964年逝去」でした。

コースの下見

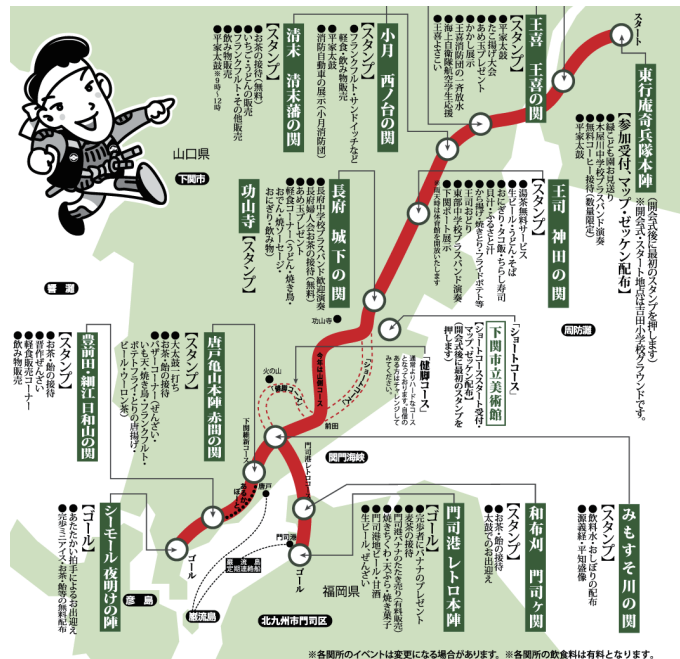
開始にさきだって、コースをつくることになり、松本敬一郎・倉田修三・安富静夫の3人で、おおよそのコースを下関駅まで歩きました。松本敬一郎さんは下関商業開発イベント担当で故人となり、倉田修三さんは軌道に乗った時期にウォークから引退、安富静夫さんはウォーク当日のペース・メーカーで先導役を第18回まで皆勤で自衛隊の旗手とともに歩き、その後、足が万全でなく、現在は開会式のみ参加、その後引退されました。



木屋川〜「王喜の関」周辺



スタート地点 (吉田小学校)



※各回所イベントは変更になる場合があります。 ※各回所飲食料は有料となります。

- 主 催／維新・海峡ウォーク実行委員会 ●特別協賛／山口銀行、北九州銀行
- 後 援／山口県歩こう運動推進連絡協議会、山口県、下関市、北九州市、下関市教育委員会、北九州市教育委員会、下関市体育協会、下関商工会議所、北九州商工会議所、下関21世紀協会、門司まちづくり21世紀の会、下関青年会議所、下関観光コンベンション協会、長府観光協会、吉田観光協会、下関市PTA連合会、下関市女性団体連絡協議会、下関交通安全協会、長府交通安全協会、門司歩こう会、COME ON! FM、門司港レトロ倶楽部、J.COM下関、下関水産振興協会
- 協 力／山口銀行、北九州銀行、西中国信用金庫、シーモール下関、サンデン交通、豊前田・細江商店街振興会、唐戸商店街、長府商店街、王司まちづくりの会、清末商工振興会、小月商工振興会、吉田商工振興会、下関旅館協同組合、海上自衛隊小月教育航空群、海上自衛隊下関基地隊、門司港米町商店街振興組合、長府警察署、下関警察署、門司警察署、JR九州、西日本高速道路株式会社、長府体育協会、王喜自治連合会、下関市内大学生ボランティア、豊浦高校、GMOクラウド株式会社

資金づくり

谷玉仙庵主さんから、事業の資金計画を作るように当初の3人に指示があり、最初総額300万円程度の予算をつくり、打ち合わせを開催するが、そのとき谷玉仙庵主さんは、「こんな小さい額ではいけません。もつと大きな金額、3倍ぐらいにしてください」と叱責。第1回は、約1000万円の予算。決算は、1036万円でした。

山口銀行の伊村頭取のところへ、資金援助のお願い

第1回の予算を作成し、庵主さんが付いて来なさいというので、ついて行くと山口銀行伊村頭取の部屋であった。いきなり、1000万円かかるので、500万の補助をお願いしますとのことでした。その時、300万円の約束をいただいたそうです。ゼッケンやノボりに広告を入れる、完歩賞、缶バッチ、コースに史跡を記入したチラシの作成など、アイデアが生まれました。

第一回の開催を市役所の記者クラブで発表

新聞記者が「1000人も参加しないでしょう」と発言。「いや、5000人は参加しますよ」と谷玉仙庵主さんが答えたそうです。結果は、8000人の参加。新聞記者は完敗したと言ったそうです。現在では約2万人を数え全国でも屈指の規模を誇るウォークに発展しました。

21世紀協会の関わり

協会は第1回から関わり、協賛や実行委員長の選出、通行の警備など担当してきています。私は、第2回より参加させて頂き現在も担当しています。この話は、安富静夫さん「元下関中央図書館館長」よりお聞きし記録としても未来に残し、語り継いでほしいと託された話です。